

## 平成21年度麻布大学同窓会大分県支部総会

開催日時：平成21年12月5日（土）午後5時～

開催場所：大分市都町2-1-7 | ワシントンホテル

### 麻布大学同窓会大分県支部の活動

昭和20年代後半～昭和30年後半 大分県同窓会は当初当時大分県庁衛生部食品獣疫係長であった、徳丸公亮(昭和13年卒)が代表とし、事務全般を三浦幹夫に任せていた。当時は同窓会としての活動はなく同窓会本部からの連絡事項を卒業生に知らせたり、懇親会程度であった。

昭和40年代に入ると、卒業生の中から「同窓会活動を活発にしないと行けない」そのためには同窓会を正式に立ち上げる必要があるとの気運が高まり、昭和48年9月29日、23名の出席のもと同窓会大分県支部設立総会が開催された。

支部長に故宮野茂、事務局長には当初より同窓会の事務を担当していた三浦幹夫を選出し、麻布大学大分県支部はスタートした。

その後昭和55年3月に役員改選が行われ、支部長に三浦幹夫(昭和62年まで:現顧問)、事務局長に高根博(昭和63年～平成12年まで支部長:現顧問)が選出された。

この時期より支部活動は活発になり、総会には在校生の父兄の出席を呼びかけ、在学中での相談、卒業後における就職斡旋等卒業生と父兄との交流の機会や、また、総会終了後において畜産、公衆衛生、開業の各部門より研究発表を行い等の活動を始めた。

平成21年度総会は、平成21年12月5日(土)午後5時から大分市都町2-1-7 | ワシントンホテルで開催された。

当日は、同窓会本部から昭和39年3月卒業で濱村総務担当理事兼務事務局長をお迎えし、佐藤支部長はじめ会員32名の参加がありました。

総会は支部長の挨拶に始まり、来賓としての濱村事務局長挨拶の後議題として、先に佐賀県で開催された平成21年度麻布大学九州地区ブロック会議の報告、平成20年度決算の承認、平成21年度予算案が上提され、全ての議事が終了しました。また、麻布大学同窓会より麻布大学同窓会の組織又は事業の発展向上及び支部活動の育成・強化に貢献したことにより「飯田昌昭 昭和36年卒 現顧問」に感謝状が贈呈された。総会終了後、支部設立当時より続けている研修会を開催し、今年是小動物臨床の担当で「平成11年卒 吉野信秀:ステロイド反応性実質性角膜炎の犬の4例」の研究発表がされ、各分野での活躍を披露した。その後「昭和19年卒:結城敏郎」の乾杯により懇親会が始まり、同級生・先輩後輩が久しぶりの再会となったこともあり、互いの情報交換に盃を上げ、時間の経つのも忘れて親睦を深めました。

大分県支部事務局 川部太一

